



The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.6

1995年7月1日

発行 全国自動車整備専門学校協会
編集事務局 〒136 東京都江東区亀戸2-28-5
☎03-3685-6761 FAX03-3684-7420

整備士の社会的地位向上を

新会長の職「気概と勇断で貫く」

全国自動車整備専門学校協会会長 小倉 基義

協会の法人化など推進

この度、全国自動車整備専門学校協会の会長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いで一杯であります。

衆知の如く本協会は、33年の歴史を持ち、会員校58校、全会員校に在籍する学生数は約22,000人であり、教育界、自動車産業界の大きな一翼を担っております。ここまでになるには、諸先輩方のご労苦は筆舌に尽くしがたいものがあつたであろうと推察し、頭の下がる思いで一杯であります。このような大きな団体の長の責務を果たすには、常に気概と勇断をもって事に当たる覚悟が必要と考えております。

高い教育効果に誇り

現在、協会では、運輸省指定時間数の短縮、教科書評価や著作権の明瞭化などの問題点を解決し、協会の法人化、教科書改訂や協会誌の発行などを精力的に継続して活動してまいりました。

しかし、今後、社会情勢の変化に伴って当協会でも様々な問題が発生することが考えられます。ご存じのように今回のサミットは、自動車の貿易問題に終始いたしました。ことほどさように自動車産業の問題は、一産業だけの問題ではなく、国家の



問題であり、当然大なり小なり我々にもその波紋が押し寄せてまいります。

また、現在我々を取り巻く身近な問題として18歳人口の減少、学生の就職先の確保、新技術に対応可能な教育などいろいろと掲げられておりますが、私が特に腐心すべき問題と考えておりますのは、整備士の社会的地位の向上であります。

我々の預かる学生は高校を卒業したあとの2年間、非常に切磋琢磨して学問の習得に励みます。その教育効果が非常に高いものであることは卒業後の国家試験の結果がどの会員校においても100%近いものであることがその証左であり、このような教育効果は、他の教育機関ではあまり例がないのではと思われまふ。すなわち、彼らは卒業時には立派なエンジニアであり、社会人として通用いたします。

我々が世に送り出している若者はまだまだ高い社会的地位を得てしかるべきであると考えております。

前述の様々な問題の解決策も収斂していきますと、この問題に包含されるのではないのでしょうか。そのうち、皆様方のご意見を是非伺いたいと存じます。

皆様の英知とご協力で

これらの問題に対しても、皆様方の英知と多大なるご協力があれば、問題解決の糸口は必ず得られるものと思っております。特に新理事の皆様、再任理事の皆様には何かとご協力を仰ぐことになるかと存じます。

さて、今後の協会の活動に關しましては、環境の様々な動向に基づいて統計データと予測を、戦略と計画に転換していくことが肝要であり、それを実行していきたいと考えております。皆様方のご協力を重ねてお願いいたします。

最後になりましたが、小林前会長のご功績に敬意を表します。

.....
小倉新会長は日本大学卒。小倉学園理事長のほか、自動車教習所6社の社長。55歳。

■CONTENTS■

- 2面 協会の新理事紹介
- 3面 OPINION
- 4・5面 教材開発レポート
- 6面 北から南から
- 7面 各校の特色・話題紹介
- 8面 私の教授法